



2018年11月20日

より速く、より見える 競泳用ゴーグル「GX・SONIC EYE J」デビュー

ミズノは、競泳用ゴーグル「GX・SONIC EYE J（ジーエックス ソニック アイ ジェイ）」を、全国のミズノスイム品取扱店で2019年1月11日から順次販売します。

「GX・SONIC EYE J」は、レンズ部の側面を滑らかなカーブ形状にすることで水の抵抗を約15%低減（株式会社西日本流体技研調べ）し、前方・側面の視界を拡大した新しい構造の競泳用ノンクッションゴーグルです。競泳女子日本代表の池江璃花子選手（ルネサンス所属）が1月の大会から使用予定です。

「GX・SONIC EYE J」の販売目標は、20,000個（発売から1年間）です。

〈池江 璃花子選手 コメント〉

「ゴーグルをつけて泳いだとき、視野が広がり自分がこんなにも周りを見ながら泳いでいるのだ、と初めて実感しました。このゴーグルをつけて、日ごろの練習成果を存分に発揮していきたいと思えます。」

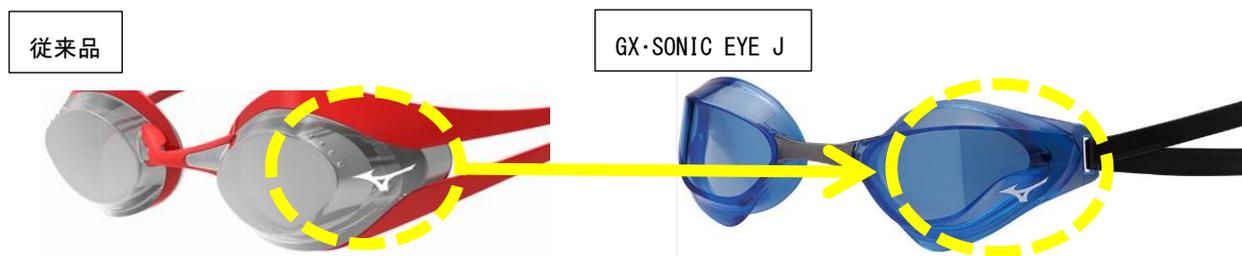


池江 璃花子選手（ルネサンス所属）

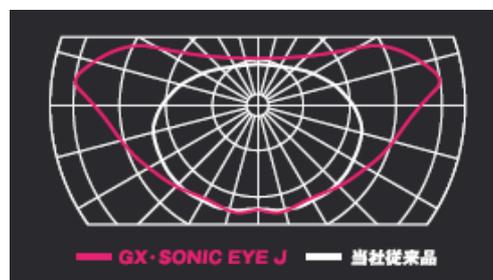
「GX・SONIC EYE J」の特長

■新開発カーブ形状レンズにより “より速く” “より見える” ゴーグル

「GX・SONIC EYE J」は、従来品（GX・SONIC EYE）よりレンズ部の側面の段差をなくし、滑らかなカーブ状にすることで、水が流れやすくなり、水の抵抗が約15%低減しました。



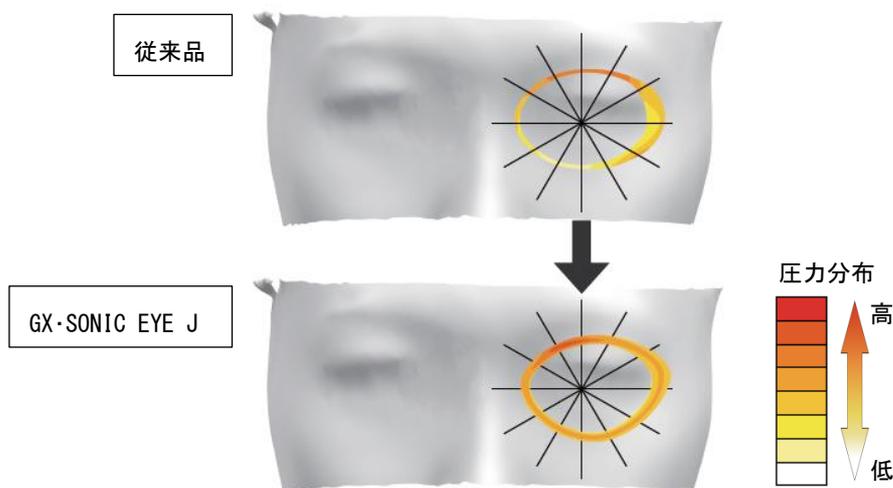
カーブ形状にすることにより、ゴーグルのレンズ面が拡大し、前方・側面視界が拡大しました。その結果、水泳時フラットな姿勢を保ちながら、周囲の選手のポジションを確認しやすくなりました。



GX・SONIC EYE Jと従来品のレンズ面 比較図

■3D スキャナーから生み出されたフィット感の追求

顔形状を立体的に採寸できる3D スキャナーを用いて、ゴーグル着用時の形状変化を数値化し、ゴーグルと肌の圧力分布がより均等になる形状を採用しています。その結果、飛込時の衝撃によりゴーグルの中に水が入る心配や、装着時の違和感などを緩和し、より泳ぎに集中するためのフィット感を追求しました。



3D スキャナーデータ

記

商 品 名	GX・SONIC EYE J	
品 番	N3JE9000	N3JE9001
価 格	2,700 円 (税込み 2,916 円)	3,700 円 (税込み 3,996 円)
カ ラ ー	スモーク (ネイビー) / ブルー (ブラック) / アクアブルー (ブルー) / スモーク (マゼンタ) ※ () はベルトカラー	スモーク×ブルーミラー (ネイビー) / ブルー×シルバーミラー (ブラック) / アクアブルー×ルビーミラー (ブルー) / スモーク×シャドーミラー (マゼンタ) ※ () はベルトカラー
サ イ ズ	鼻ベルト : XS/S/M/L/XL 交換式	
素 材	ベルト : スチレン系エラストマー (ツインベルト仕様) アイカップ : ポリカーボネート曇り止め加工	
原 産 国	日本製	
発 売 日	2019 年 1 月 11 日	
目 標 数	20,000 個 (発売から 1 年間)	

(お客様のお問合せ先)

ミズノ お客様相談センター TEL : 0120-320-799